

# 水泳の啓発 普及を目指して

## ～ 2025年度 主要競技会・競泳 ～

- 3・20～23 日本選手権 東京・アクアティクス
- 7・27～31 世界選手権 シンガポール
- 8・17～19 全国中学 鹿児島
- 8・17～20 インターハイ 広島
- 9・4～7 インターカレッジ 東京・アクアティクス
- 9・13～15 国民スポーツ 滋賀・草津
- 10・18、19 日本短水路 東京・アクアティクス

# 新体制に向けて

公益財団法人認定以来12年目を迎えます。

「水泳の啓発 普及」を目指しての公益事業の推進は会員みなさまのご協力により、それなりにその役目は果たしてきたと自負しております。

2023年度には創立10周年記念「シンポジウム」を開催できました。その前年2022年には旧財団設立、公益財団運営の功労者の物故者追悼会も開催することが出来ました。

顕彰事業、「スイマー奨励賞」「コーチ奨励賞」「大賞・日本水泳特別功労賞」は選考委員会選出により素晴らしい方々を顕彰することが出来ました。とりわけ「スイマー奨励賞」の受賞者は第1回、今井 月さん・中学2年をはじめ若い年代で選出されましたが、全員がオリンピック代表選手に選出され、日本代表として活躍されました事はこの上ない喜びです。

昨年、2019年大賞・日本水泳特別功労賞受賞の金子正子先生が文化功労者として顕彰されました。日本水泳界にとっても素晴らしいニュースとなりました。

新年早々、悲しい報にも接しました。1月4日、第1回大賞受賞の宮下充正・東大名誉教授、第4回大賞受賞の馬淵かの子・JSS宝塚の両先生がご逝去されました。

公益財団法人国際水泳殿堂・アジアも役員が高齢となりました。2022年から新体制への準備に取り組み6月の評議員会で舎人代表理事、竹田業務執行理事、菅原理事、磯部、武藤監事が退任します。新体制に向け、拡大役員会を中心に新役員候補者の推薦作業を進めています。

12月5日内閣府の定例第3回「立ち入り検査」が行われ、「財団運営に熱い熱情」を感じますとコメントをいただくとともに、今後の財団運営に役立つご助言を頂きました。

6月の新しく誕生する新理事会に、この歴史と伝統を誇る当財団の運営を託します。

新体制確立のため格別のご尽力を頂いております竹内正志・株式会社プラスケア会長のご助力に心から感謝申し上げます。

新体制は本部を東京に置きます。長年にわたりお世話になりました名古屋での「シンポジウム」は今年が最後になります。11月9日第12回「シンポジウム」を名古屋観光ホテルで開催します。

ご参加を心からお待ちします。長年にわたる会員皆様のご支援、ご協力に心から感謝申し上げますとともに新体制への倍旧のご芳情を頂きますよう心からお願い申し上げます。 代表理事 舎人 経 昭

## 令和7年(2025年) 事業計画書・収支予算書

2025・4・1～2026・3・31

### 公益事業

- 1 収蔵・展示品の収集・整備・管理 基本財産ほか
- 2 H・Pの拡充 国際水泳殿堂 国際水泳殿堂・アジア HP博物館の紹介 収蔵品
- 3 会報の発刊 6月-No.34 10月-No.35 2026・3月-No.36 年3回発刊
- 4 無料水泳教室・水泳指導 \*7月、8月予定 関係団体と協議 実施
- 5 第12回「シンポジウム」 2025年11月9日(日) 名古屋観光ホテル
- 6 顕彰事業・表彰 大賞・日本水泳特別功労賞 コーチ・スイマー奨励賞 「シンポジウム」開催時
- 7 助成事業A 水泳大会の共催・後援・協賛 助成事業B 水泳団体への助成 \*申請 審査
- 8 国際水泳殿堂との交流 \*国際水泳殿堂入堂式典ほか役員派遣
- 9 収蔵・展示品の購入 特別会計 \*選別・選定委員 2次購入実施

### 収益事業

- 1 スイミングスクールの運営 新体制
- 2 収益事業の計画 新体制

### 特別事業

- 収蔵・展示品購入計画 第2次購入実施

### 収支予算 2025年度 収支予算書

2025・4・1～2026・3・31

収入の部		支出の部	
寄附金	9,600,000円	公益事業	6,500,000円
協賛金	2,000,000円	法人	5,100,000円
指定寄附金	20,000,000円	特別会計	20,000,000円
合計	31,600,000円	合計	31,600,000円

### 会議ほか

- 1 定例理事会 5月24日(土) 本部  
2024年度 事業報告 収支決算の承認 監査報告ほか
- 2 定例評議員会 6月15日(日) 名古屋観光ホテル  
2024年度 事業報告 収支決算の承認 監査報告ほか  
理事改選 監事改選 臨時理事会 代表理事・業務執行理事選出
- 3 第12回「シンポジウム」 11月9日(日) 名古屋観光ホテル
- 4 定例理事会 2025年2月第1週土曜日予定 本部  
2026年度 事業計画 収支予算の承認ほか
- 5 新体制、新本部 2026年4月1日事業開始・東京予定

# 祝 文化功労者顕彰 金子正子先生・東京アーティスティックスイミングクラブ理事長

2015年国際水泳殿堂入堂 2019年国際水泳殿堂・アジア大賞受賞

## 金子正子さんの文化功労者顕彰を祝う会

日本水泳連盟と東京アーティスティックスイミングクラブにより1月27日  
品川プリンスホテルで開催され、多くの関係者が集い、先生の栄誉を讃え、祝福

日本のアーティスティックスイミングの初期から今日まで競技に対する情熱と強いリーダーシップで日本水泳界をリードされ続けられ、1984年ロスアンゼルスオリンピックではチームリーダーとしてソロ、デュエットで日本水泳界初の銅メダルを獲得、以来7回のオリンピック日本代表チーム「マーメイドジャパン」のリーダーとして数多くのオリンピックメダリストを輩出。

日本水泳連盟の理事、監事、顧問を歴任



金子先生受賞ご挨拶



発起人挨拶 鈴木日本水泳連盟会長



菅原理事 金子先生

### ～ 受賞ご挨拶 ～

金子正子

この度は「令和6年度の文化功労者の顕彰」に浴し、身に余る光榮に存じます。  
これも一重に日本水泳連盟をはじめスポーツ界並びに公私に渡る多くの関係者の皆様方のご指導、ご支援の賜物があることと心より深く感謝申し上げます。  
今後共一層の精進をし、スポーツ界、社会の為に微力を尽くしてまいります所存でございます。

## 2025年度 第12回「シンポジウム」開催要項

**日時** 2025年11月9日(日) 9:00～13:00  
**場所** 名古屋観光ホテル 2F 曙東の間 名古屋市中区錦1-19-30 地下鉄東山線伏見下車5分  
**受付** 9:00 開会 9:50  
新体制 役員紹介  
新代表理事 挨拶 前代表理事へ記念品贈呈・前代表理事挨拶  
**講演** 基調講演・特別講演 未定 どちらか1名予定  
**顕彰** 2025年度「スイマー奨励賞」「コーチ奨励賞」「大賞・日本水泳特別功労賞」  
**会員懇親昼食会** 「前役員への慰労の言葉」「新役員への期待と要望」

### 公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア「シンポジウム」

講演者・顕彰受賞者 敬称略

	基調講演	特別講演	大賞・水泳特別賞	コーチ奨励賞	スイマー奨励賞
2014年度	宮下 充正	小沢 剛	宮下 充正	○藤森 善弘	●今井 月
2015年度	深代 千代	東島 新次	※石井 宏	○小池 隆治	★○池江 璃花子
2016年度	清原 伸彦	菊浦 佑介	※武藤 芳照 <small>辞退</small>	○加藤 剛志	○板橋 美波
2017年度	吉岡 伸輔	宮川 美哉	※馬淵 かの子	村上 二三也	○長谷川 涼香
2018年度	菊浦 佑介	菅原 宣彦	※清原 伸彦	竹村 知洋	○酒井 夏海
2019年度	菅原宣彦・東島新次	舎人 経昭	※金子 正子	茅原 直人	★○玉井 陸斗
2020年度	...	...	※東島 新次	選考せず	選考せず
2021年度	...	菊浦 佑介	※大崎 喜子	★○馬淵 嵩英	○寺内 健
2022年度	...	井村 雅代	※井村 雅代	○下山 好充	★成田 実生
2023年度	菅原 宣彦	菊浦 佑介	舎人 経昭	★海老澤 雄介	★松下 知之
2024年度	菅原 宣彦	菊浦 佑介	※馬淵 崇英	選考せず	今福 和志

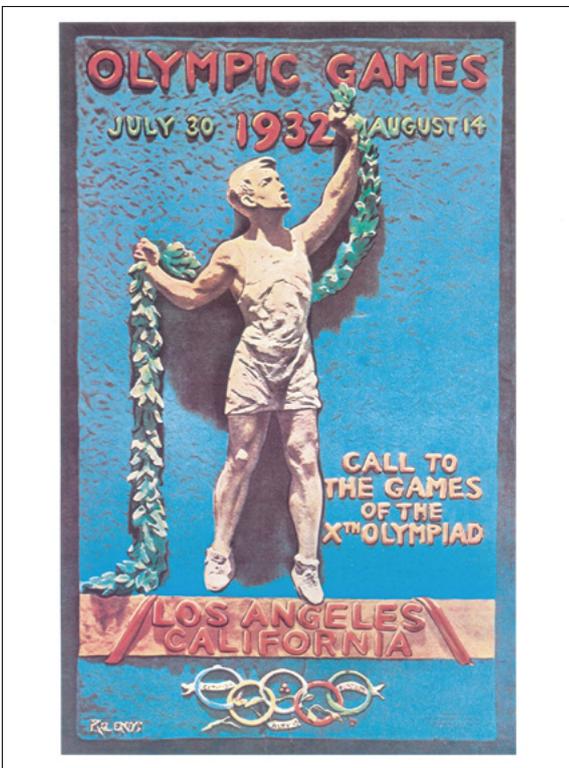
※：オリンピック出場 ●：リオオリンピック出場 ○：東京オリンピック出場 ★：パリオリンピック出場

# 2028年 ロスアンゼルスオリンピック

## ロスアンゼルスでの3回目のオリンピック、 1932年第9回大会、1984年第23回大会を振り返る。

日本がオリンピックに参加、1924年第8回パリオリンピックで4種目初入賞、1928年第9回アムステルダムで200平泳ぎ鶴田義行が初の金メダル、800リレー銀メダル100自由形高石勝男が銅メダル、その4年後 日本水泳陣の大輪がロスに咲き乱れる。

### 1932年 第10回 ロスアンゼルスオリンピック 驚異の日本水泳陣 5種目金メダル



100自由形 宮崎康二 1500自由形 北村久寿雄  
 100背泳ぎ 清川正二 200平泳ぎ 鶴田義行 2連覇  
 800リレーほか銀メダル5種目  
 銅メダル2種目 入賞4種目  
 鶴田義行は第9回アムステルダム初金メダル2連覇  
 前畑秀子は銀メダル。1936第11回ベルリン大会金メダル

### 1936年 第11回ベルリンオリンピック 日本水泳陣の活躍は続く

1500自由形 寺田 昇  
 200平泳ぎ 葉室鉄夫  
 800リレー  
 200平泳ぎ 前畑秀子 日本女子第1号金メダル  
 銀メダル2、銅メダル3

#### 第2次世界大戦勃発 日本敗戦

戦後、日大村上コーチ指導の古橋広之進、橋爪四郎が世界記録を続出。オリンピック・国際大会に出場できない日本水泳陣は悔しい思いをした。

#### 1952年第15回ヘルシンキオリンピックにようやく出場

100自由形 鈴木 弘 1500自由形 橋爪四郎  
 800リレー銀メダル 400自由形 古橋広之進は決勝8位

### 国際水泳殿堂 日本人入堂者

「日本人入堂者34名/入堂者総数880名 内マスターズ42名」

毎年5月に顕彰・入堂式典開催

- |        |        |           |       |         |       |       |             |
|--------|--------|-----------|-------|---------|-------|-------|-------------|
| ●北村久寿雄 | ●古橋広之進 | ●鶴田義行     | ●清川正二 | ●前畑秀子   | ●宮崎康二 | ●古川 勝 | ●山中 毅       |
| 田口信教   | 青木まゆみ  | ●葉室鉄夫     | ●高石勝男 | ●牧野正蔵   | 田中聡子  | ●遊佐正憲 | ●橋爪四郎       |
| ●長沢二郎  | ●寺田 登  | ●小池礼三     | ●村上勝芳 | ●新井茂雄   | 加藤浩時  | 大崎喜子  | ●大崎剛彦       |
| 小谷実可子  | ●松沢一鶴  | ●中村敬次郎    | 立花美哉  | 金子正子    | 武田美保  | 松田仁美  | 鈴木大地        |
| 関川重久   | 北島康介   | 23.9.30入堂 |       | 入堂推薦申請中 | 石井 宏  | 岩崎恭子  | 柴田理絵 (●印故人) |

## 1984年 第23回ロスアンゼルスオリンピックの寂しい思い出

1980年 モスクワオリンピックをボイコットした日本水泳陣、期待の星が誕生していた。

長崎宏子 平泳ぎが世界ランキング1位に顔を出した。

1972年の田口信教、青木まゆみの2種目金メダル、1976年 モントリオールオリンピックで惨敗、日本水泳界も期待。



オリンピックの前年、藤田日本水泳連盟会長、宮下東大教授、徳田フジタ代表、3回も会食をした。

会長から長崎宏子は本当に金メダルが取れるか、宮下先生は「2種目は無理でも200は絶対大丈夫」、徳田先生は「難しい。そんな簡単ではない。宏子に精神力の強さがあるかどうかだ。」

ロスアンゼルスは1991年、文部省の海外研修員に選ばれ、アメリカでの最初の水泳大会がこの記念プールで開かれた思い出の地である。

残念ながら惨敗、メダルを取ることが出来ず、会場でお会いした藤田会長にかけける言葉がなかった。 りふ

長崎宏子 平泳ぎ100 6位 200 4位

久米直子 バタフライ 200 6位

シンクロがオリンピック初メダル ソロ 元好三和子 3位

デュエット 元好三和子 木村さえ子 3位

## 2028年ロスアンゼルスを目指すスイマー

### 若い力の台頭、ベテランの復活に期待

パリ銀メダルの松下知之・東洋大学、遊佐達也・中京大中京、今福和志・枚方SS

アメリカへの武者修行平井瑞樹、個人メドレー成田実生・明治大学の成長に期待。

ベテランでは渡辺一平・TOYOTA、渡部隼人・自衛隊、復調の本多 灯、竹原秀一・東洋大

女子では青木玲緒奈・ミズノ、鈴木聡美・ミキハウスは共に健在、難波実夢・JSS、池本凜沙・イトマンも強い。

7月の世界選手権を目指し、3月27日からの本選手権での力泳が楽しみだ。

## 新競泳委員長に倉澤利彰氏・日本大学 就任 代行スタート



選手、コーチとしての経験も豊富、

・かじ取りの根幹 ・日本代表の再建 ・WUGの強化

・ジュニア育成の継続を旗印にロスアンゼルスオリンピックを目指す。

・2028年ロスアンゼルスオリンピックでの日本水泳・競泳を再建させる。

## アーティスティックスイミング ヘッドコーチに宮川美哉氏(旧姓立花) 就任

オリンピック3大会出場、いずれもメダル獲得、2011年 国際水泳殿堂入堂

アメリカ・フロリダ・フォートローダーデール

選手として、コーチとしての経験豊富、母親として育児、家庭人としての生活経験



人生の盟友 宮下充正先生を偲んで 日本近代スポーツ科学の礎を確立 多くの研究者を育成

高校水泳コーチ仲間の・林 祐三先生から「東大の先輩の宮下先生が名古屋大学に行きます菅原先生にお力を借りたい案件でお訪ねします。よろしくお願ひします。」と平和が丘の東邦高校のプールを訪ねられた時から付き合いが始まる。1965年、60年前の話です。

当時、私は愛知水泳連盟の競泳委員長 宮下先生のお願ひは体力測定「新しい器具が整備された。筋電図をはじめ様々な測定がしたい。ついては測定する高校生をお願ひしたい。」「男子・女子で20名から30名 愛知県の強い選手をお願ひします。」難題でした。当時愛知の女子高校は相山、淑徳が毎年インターハイで総合優勝を狙う強豪、男子も中京商業が全国最強、に東邦、名古屋学院、愛知が全国級の選手を擁していた。各校の先生にお願ひし、種目も考慮し各校6名、計36名が週1回、愛知県体育館プールでデータ集約に協力した。

お茶を飲み、食事をし、交流が深まった。先生の趣味は麻雀と川釣り。

日本水泳の強化にはコーチ力の質的向上が必要、で先生は学童、中学、高校、大学、実業団とにかく日本一の選手を育てたコーチを対象に全国水泳コーチ研修会を立ち上げた。

大阪での春の日本室内選手権大会で研修会主要メンバーを集め、「この研修会のすべてを名古屋の菅原先生に任せたい」「先生お願ひします。あなたの思うように運営、発展させて下さい。」会員名簿を頂き、秋の研修会の企画に入る。1971年の事です。1972年ミュンヘンオリンピック、田口信教100平泳ぎ・コーチ徳田 青木まゆみ 100バタフライ・コーチ加藤金メダル獲得。

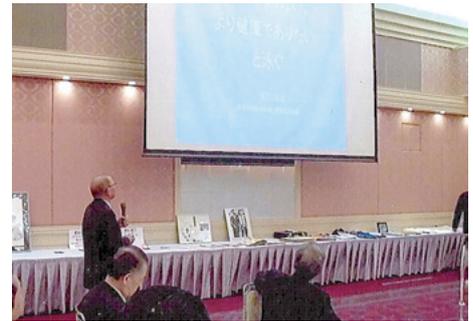
アメリカ水泳コーチ協会、オーストラリア水泳コーチ協会と提携、名古屋で8回、東京で2回、広島で1回 ミズノをはじめ関係団体のサポートにより毎年、講師に海外著名コーチを招聘し、日本コーチの資質向上につとめた。「先生、大変だったよ、この仕事」

いろいろ、いろいろありました。

- 1、先生がアメリカの学会で初めて講演する 餞別を持ち小石川の自宅へ、飯食おう、自転車二人乗りで レストランへステーキを 武藤先生ごめんなさい。宮下先生は痛風で武藤先生が主治医
  - 2、東大がアメリカ、オレゴン州立大学と学術提携 提携最終会議に参加 契約条件大幅に変更させる。
- ほか、こんなにありました。

・世界マスターズ選手権大会オーストラリア ・愛知水連データ取り ・東大寄附金の件 ・旧財団第1回基調講演 ・個人寄附 ・全国水泳コーチ研修会 ◎叙勲 瑞宝中綬章受賞 ・公益財団第1回基調講演 ・武藤先生を東大へ招聘 ・教育学部長就任 ◎東大退官 ・前立腺がん ・最後の午餐会1回 晚餐会2回 菅原生前葬で弔辞23・10・26日

「我が道を行く」!! 「素晴らしい人間性を持ち合わせていた」「人の評価を正確にされた」「自分より集う研究生、スタッフに心した」先生は1936・8月生 私より3ヶ月後輩  
先生と出会えて私の人生最高でした。感謝 感謝です。そちらで ゆっくり語り合い麻雀しましょう。  
り。s



第1回「シンポジウム」基調講演



第1回大賞受賞 舎人代表理事と

## 内閣府 定例「立ち入り検査」

12月5日定例の内閣府「立ち入り検査」が実施された。

内閣府 上席審査監督調査官 豊島祐一、審査監督官 舟橋卓也両氏を迎え、本部において審査、調査、質疑応答を実施。財団側対応は舎人代表理事、菅原業務執行理事代理、内閣府担当伴野評議員、会計事務所、おおぞね会計岡村代表役員が対応、加えて本部付前野推進委員、新体制、業務執行理事候補者として名木評議委員も同席した。



## 人生、飛び込み 馬淵かの子先生 JSS 宝塚を偲んで

初めての出会いはアメリカ・フォート・ローダーデール国際水泳殿堂の飛び込みプールサイド、約30年前、先生はご主人のJSS宝塚 良会長、馬淵コーチ、選手の寺内 健選手と一緒にいた。私は国際水泳殿堂の毎年恒例の入堂式典に常務理事として参加しておりました。

盟友、石井 宏さんから馬淵かの子先生のことは幾度も聞いており、うれしくお会いしました。入堂式典の夕食会もご一諸し、良会長、かの子先生の飛び込みにかける情熱に感動したことを覚えています。

私も、高校レベルですが、指導する東邦高校で1964年のインターハイ・前橋で全国優勝・高飛び込み優勝、板飛び込み2位を遂げました。

同じテーブルにイギリスの入堂者選考委員が同席しており、かの子先生を国際水泳殿堂・アジアから入堂推薦をして下さい。応援します。

帰国し9月頃、良会長から連絡が入り、「かの子の国際水泳殿堂、入堂推薦をお願いしたい」でJSS宝塚をお訪ねし、国際水泳殿堂、入堂選考委員会などのお話をしました。良会長から「大変厳しいことはよくわかりました。無理を承知でノミネートだけでもお願いします」資料をお預かりし、国際水泳殿堂選考委員会に推薦書を送りました。

その後、当財団の2017年第4回大賞・日本水泳特別功労賞を馬淵かの子先生が受賞、2019年には玉井陸斗選手が「スイマー・飛び込み奨励賞」、2021年には馬淵崇英コーチがコーチ奨励賞、寺内 健選手が「スイマー・飛び込み特別賞」とダブル受賞

2024年には玉井陸斗選手が日本飛び込み界オリンピックで銀メダルを獲得、2024年大賞・日本水泳特別功労賞に馬淵崇英コーチ選出された。



第4回大賞受賞 左:石井 宏 右:舎人代表理事



馬淵・玉井やった銀メダル

「まわりに気を遣う」「飛び込みにかけた良先生との二人三脚人生」「選手、父兄への心使い」

先生、陸斗の銀メダル最高でしたね。良会長にいいお話ができますね！ロスオリンピックに懸ける陸斗、馬淵コーチ、寺内先輩を見守って下さい。かの子先生は社会人としても最高でした。感謝です。

り.5

# 2028

## ～ ニュース・往来 ～

### クリスマスカード 賀状 ありがとうございました

成田実生選手、馬淵崇英飛び込みコーチはじめ多くのクリスマスカード、賀状をありがとうございました。

### 展示 C 金沢プールへ 2月8日 豪雪、猛吹雪の中、搬送

「コーチとスイマー」・彫刻 1936年 全米選手権・トロフィー 1910年  
ヨーロッパ選手権・トロフィー 1910年  
世界選手権・デйнаデバロナ:米国 世界選手権・古川 勝:日本  
岩崎恭子・バルセロナオリンピック優勝 鈴木大地・ソウルオリンピック優勝の写真

### 拡大委員会

2022年から財団運営をより円滑に進める為に各部署より選出  
理事代表 菅原宣彦、評議員代表 伴野泰申、監事代表 武藤龍治、推進代表 前野英樹に必要に応じて、舎人代表理事が出席、隔月に開会。

## 2025年度 寄附会員への登録、お振込みについてのお願い。

当財団の運営は皆様のご厚情、ご芳志により運営され、公益事業を推進しています。  
多くのご支援に、財団役員一同感謝にたえません。  
寄附会員各位におかれましては昨年同様当財団に対し、倍旧のご支援、ご芳情をお願い申し上げます。  
ご家族、ご友人、お引取先にも、ご情宜いただきますようお願い申し上げます。  
従前の会員各位につきましては銀行振り込みのみにて、対応させていただきます。  
当財団への寄附金につきましては公益財団として「所得控除」「税額控除」の優遇措置を受けております。  
:府益担第450号 内閣総理大臣 安倍晋三:

**寄附会員募集** 法人・個人 事務取扱い 〒465-0008 名古屋市名東区猪子石原3-601 JSパラシオン101  
FAX 052-779-0010

### ○入会方法

① 下記の申込書に必要事項をご記入の上、財団本部・事務取扱まで郵送・又は FAX にてお申込み下さい。

② 寄附会員:法人一口 100,000円・個人一口 10,000円

### ③ 振込先

一般寄附 三菱 UFJ 銀行 名古屋営業部 普通 2316137

指定寄附 三菱 UFJ 銀行 名古屋営業部 普通 0747135 指定寄附は一口 50,000円

口座名:公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア

年 月 日

## 寄附会員入会申込書

公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア 会員受付宛

財団の趣旨に賛同し、一般寄附・指定寄附会員として入会します (○を付けてください)

○ 法人でお申し込みの方 金額 円		○ 個人でお申し込みの方 金額 円	
フリガナ 法人名		フリガナ 個人名	
フリガナ 代表者名		フリガナ ご連絡先	
ご住所 〒		ご住所 〒	
電話番号		電話番号	

寄附会員につきましては税の優遇措置、寄附金控除(所得控除)、寄附金特別控除(税額控除)があります。

発行:公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア 本部 名古屋市千種区天満通1-46 TEL 052-711-8255 FAX 052-721-9305

### 財団の基本情報

名称:公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア  
設立日:1992年(平成4年)8月19日  
移行日:2014年(平成26年)4月1日  
代表者:代表理事 舎人 経昭  
基本財産:184,000,000円  
その他財産:52,993,000円  
総財産:236,993,000円  
本部:〒464-0095 名古屋市千種区天満通1-46

### 役員

2023.7.1  
代表理事 舎人 経昭 評議員 川村 俊五 評議員 名木 浩一  
業務執行理事 竹田 幹夫 評議員 上里 修司 評議員 福井 啓介  
理事 菅原 宣彦 評議員 藤城 弘幸 評議員 長谷川 勝  
理事 小栗 淑子 評議員 伴野 奉申 監事 武藤 龍治  
理事 木又 博美 評議員 舎人 久子 監事 磯部 正

### 選考委員会

委員長:菅原 宣彦・学識経験者  
委員:小沢 剛・共同通信社  
磯部 正・国際水泳殿堂入堂者選考委員

代表:石井 宏・オリンピックメダリスト  
宮島 年夫・学識経験者  
武藤 龍治・監事

福田 雅司・学識経験者